

2023年広島県セーリング連盟 メンバーズミーティング



安全講習会



2023年4月9日

広島県セーリング連盟
普及育成委員会

2023-ver1

CONTENTS



◎事故事例

◎練習時安全対策

選手としての安全対策

コーチ、サポーターとしての安全対策

◎マナー、ハーバー使用のお願い

事故事例 (抜粋)



発生日	水域	年齢	艇種	コンディション	要因	内容
1992年4月12日	山口	大学4年生	スナイプ	強風	溺死	15m/sの強風、沈艇から離れ流され、溺死
1993年4月1日	広島	高校2年生	FJ	無風	衝突	風待ち中に、漁船が衝突。ショック死
2000年11月18日	広島	高校生	FJ	無風	衝突	曳航中に漁船が衝突 1名死亡
2013年3月10日	関西	大学生	スナイプ、470	強風	低体温	急激に上がった風により、6艇艇体放棄 数名が低体温
2015年3月25日	関西	大学2年生	420	強風	シート	クルーが沈によりトラップーズワイヤーに絡まり、溺死
2016年7月18日	外洋	66歳		強風	溺死	レース中に転落、溺死
2017年11月18日	北陸	大学2年生	470	強風	シート	沈したときにシートに絡まり、溺死

事故の傾向

- 1) 春先が多い
- 2) 強風時の溺死がほとんど
- 3) 強風時のシートトラブルが多い



安全対策

選手として <知識>



- 艇の構造や**艀装の仕組み**を理解しておくこと

例えば、**セールを降ろす方法**、**バウラインの取り方**など必要最低限は必要

- メンバー全員が、**心肺蘇生法**の講習を受けておくこと

2023年5～6月に実施予定

- 練習前にその日の天気予報を確認するとともに

観天望気（かんてんぼうき）を怠らないこと。**荒天時の携帯アラーム**が有効
海の緊急情報配信サービス（海上保安庁）

<http://www7.kaiho.mlit.go.jp/micsmail/reg/touroku.html>



- 経験不足の選手が参加する場合や悪天候が見込まれる場合、**練習中止の基準（風速、天候、気温）**を事前にチーム内で確認しておくこと

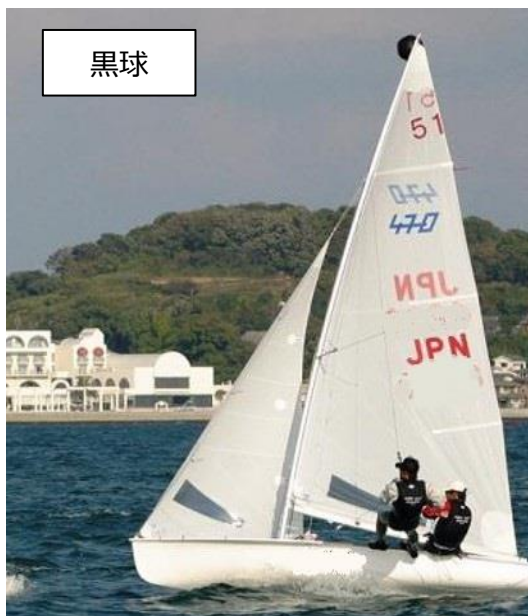


安全対策

選手として <装備>



- 荒天が予想される場合やビギナーが乗艇する場合には、マストトップに黒球等の浮力体を装備し完沈の防止を図ること
但し黒球を付けると風に流されやすく、センターへも上がりにくいので十分注意のこと

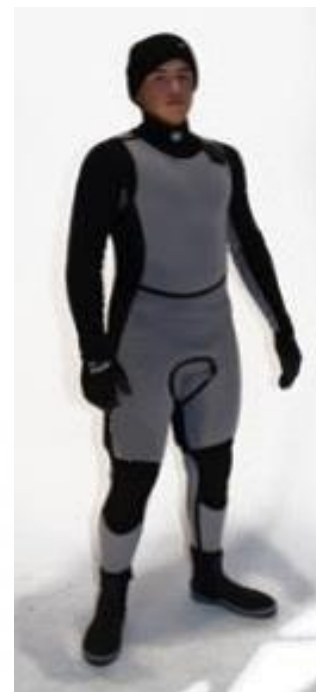


安全対策

選手として <服装>



- 季節や状況に応じたウェアを着用すること
- **夏場**：極力肌を露出させない。紫外線が強く目を傷めるので**サングラス**を着用すること（白内障に注意。**紫外線カットのサングラス**が有効）
- **冬場**：重ね着厳禁 防水性透湿素材が最高 無い場合、下へ透湿性の高い素材＋上に撥水性の高い素材が良い
夏用のラッシュガードは危険
- ライフジャケットの上に**ビブス**は有効

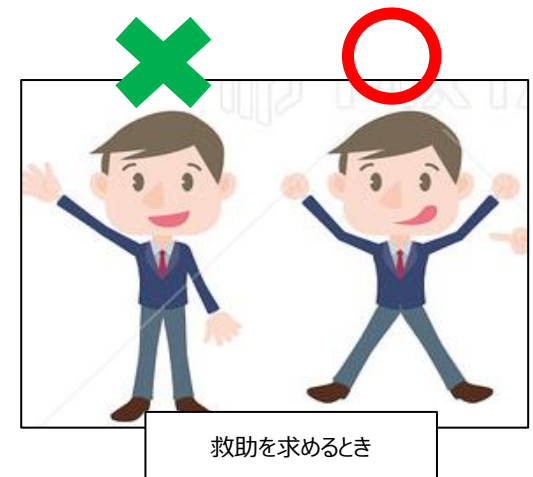


安全対策

選手として <緊急時>



- 海上での異常時の伝達は大きなアクションで伝えること。両手で手を振る。
- 夏場は熱中症対策のため飲料水をこまめに飲むこと
- 熱中症かな・・・と思うときは海へ浸かる
- 艀装品トラブル対応の為、雑索、シャックルなどは自艇に積んでおくこと
- 艀装品のトラブルで帆走できない場合、風が強ければとにかくメインセールを降ろす。メインセールをおろしジブ帆走も有効 但し風上には走り難い。

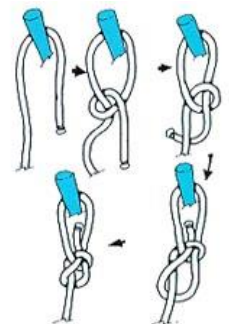


安全対策

選手として <沈処理>



- 軽風時に必ず沈処理方法を経験し、習得しておくこと
- センターボードへ登れるだけの**最低限の体力、腕力**は必要
- 特に冬期は沈処理が長引くと低体温症の危険があるため、体力のない**メンバーは早めに交替**する
- 沈をした場合には、絶対に**艇から離れないこと**。何かに捕まっておく
- 一過性の強風時には艇を無理に起こさず、**強風をやり過ごす**ことも考慮
- 緊急時にも対応できるように**ロープワーク**を練習しておくこと



安全対策

選手として <その他>



- **アカエイ**が年々多くなっています。特に砂浜は注意。
- もし刺されたら・・・60℃以上の高温で毒の成分が分解される
そのため、キズ口の周囲に**火傷にならない程度の熱湯（43～50℃程度）**
応急措置としては効果的 → すぐに救急車を呼ぶ

<http://outdoor.ymnext.com/kikenn-21.html>

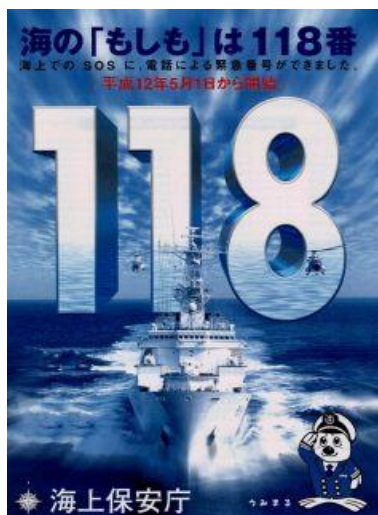
- **裸足での出艇**は止めましょう



安全対策 レスキュー体制（準備）



- レスキュー艇には少なくとも**シーナイフ**を備えておくこと
- レスキュー艇には携帯電話等の無線機器を持ったメンバーが乗艇すること
番号は・・・ マリーナの番号は・・・
- 曳航ロープ**φ6 mm×10m以上、雑索、**簡単な工具**、備品は常に用意しておく



シーナイフ動画参照

安全対策 レスキュー体制（体制）



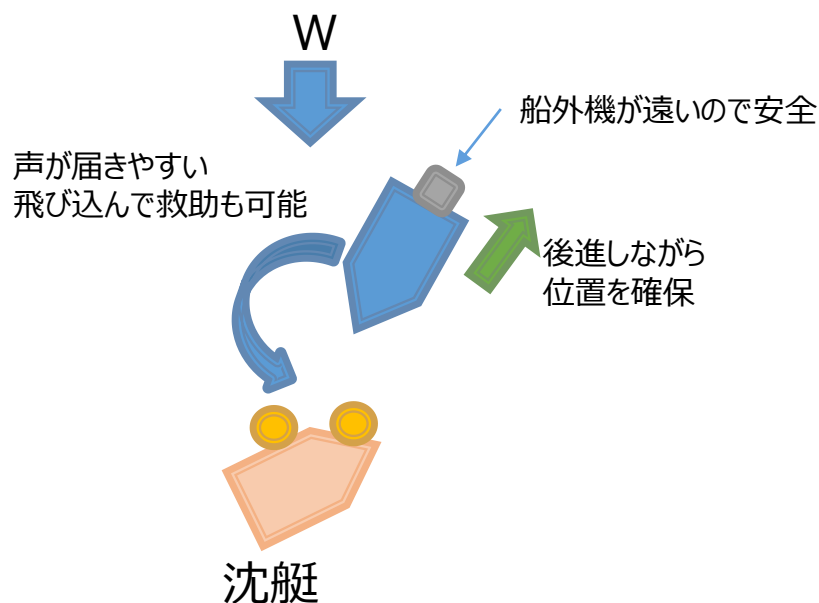
- 日頃からレスキューボートのメンテナンスを怠らないこと
- 原則としてレスキューボートがない状態では出艇しないこと
他のチームにお願いすることも考慮する
- レスキューボートは常に2名以上乗り、且つ定員の60%までの乗員が望ましい（救助艇は観覧艇ではない）
- レスキューボートのメンバーは、何時でも飛び込める準備をしておくこと
- ドライバーはキルコードを付けること



安全対策 レスキュー体制（救助）



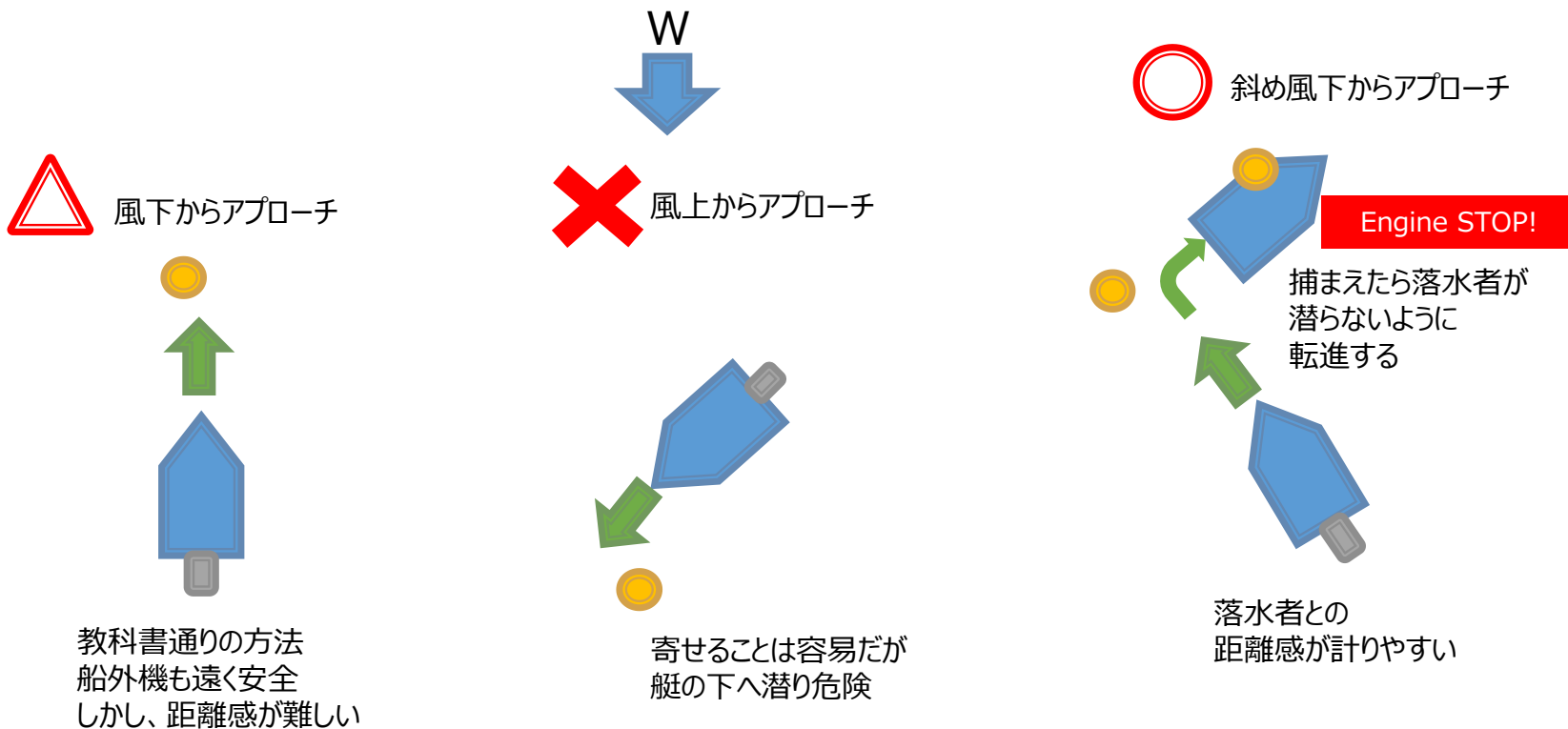
- 沈艇を発見したら、全ての**乗員の姿（頭）を確認**するまでは目を離さないこと
- **風上からの救助**はレスキュー艇からの声がメンバーに届きやすい
- うねりの少ない海面では、**風上からアプローチし、少しずつ後進**をかけながら常にバウを風下にするとレスキューの位置取りが容易
- 強風で起こし難い時は、レスキュー艇からフォースティー等にラインを取り**後進し艇を風に立てる**と起こしやすい
- 複数救助する艇がいる場合、**弱者から救助**することを優先し、その他は予備の**アンカーで一旦係留**も考える



安全対策 レスキュー体制（落水者救助）



- 落水者の救助はアプローチの向きと引き上げる方法に注意する



安全対策 レスキュー体制（曳航）



- バウラインや曳航索が**プロペラにかからない**ように操船すること
- ボートの引き波の影響を受けないように**曳航ロープは長く**すること
- 曳航時に大波を受ける時はバウを波に立て減速すること
- 船舶の往来が多い海面においては、**無風時は早めに曳航**に移行し
帰港すること
- 視界が悪い時は、**セールを上げて目立つ**ようにすること



安全対策 ライフジャケット



動力船に乗るには、ライフジャケットは**桜マーク**（型式承認試験及び検定への合格の印）が必要



50N が基本



例外

「JSAF基準」のライフジャケットとは、ISO規格：12402-5、CE基準：EN393、UL規格：Type III

内容	桜マーク適用除外（J S A F基準着用）	適用（桜マークが必要）
動力のないヨットの帆走	○	
正規のレース（※）のために日々の練習を支援するボート	○	
正規のレース（※）を運営するボート	○	
正規のレース（※）の審判ボート	○	
コーチなどの乗る正規のレース（※）を支援するボート	○	
正規のレース（※）のレース海面へ移動するために曳航するボート	○	
レースを観戦するボート		○
明日のレースの海上まで前日に曳航をしているボート		○
チームの支援艇を使って海水浴へ行った		○
チームの支援艇を使って魚釣りへ行った		○

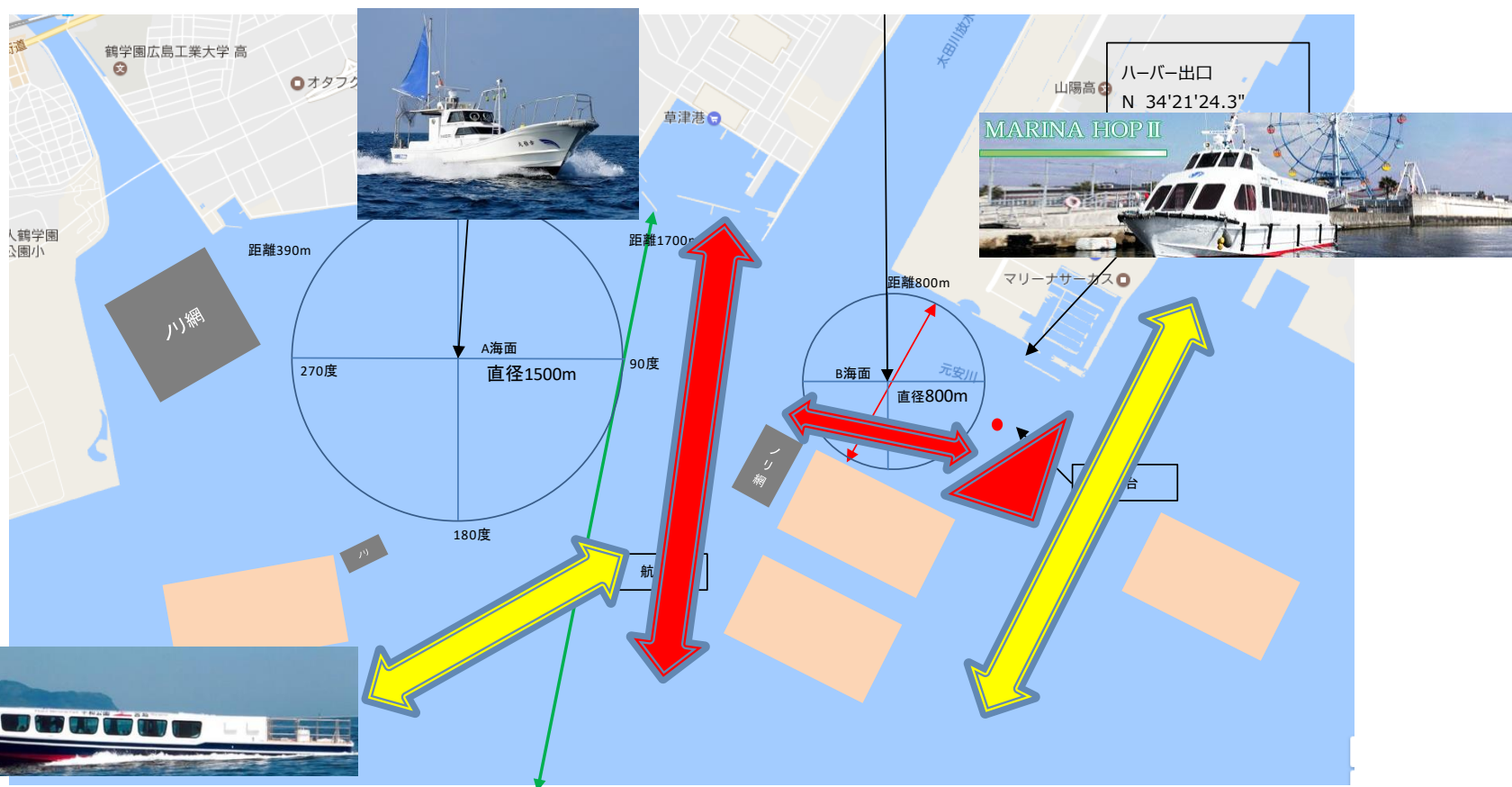
安全対策 動力船との衝突防止



危険なエリア

航行には十分に注意のこと。

帆船に**航路権**があっても、**避ける努力**が必要



マナーについて



- **港内は最徐行** 波が立つと係船してるボートが痛みます・・・

- 係船方法

- **スプリング**を必ず取る

- **フェンダー**を適正な位置へ取り付ける

- ヤードでは、毎回しっかりと**艇を固定**する

他の艇へ迷惑が掛かります

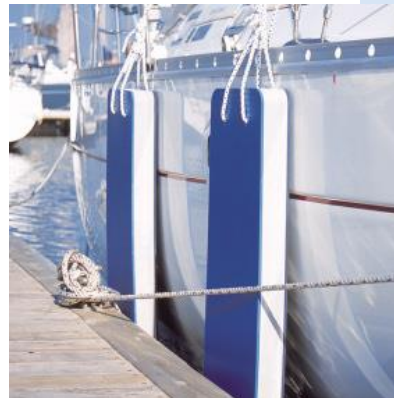
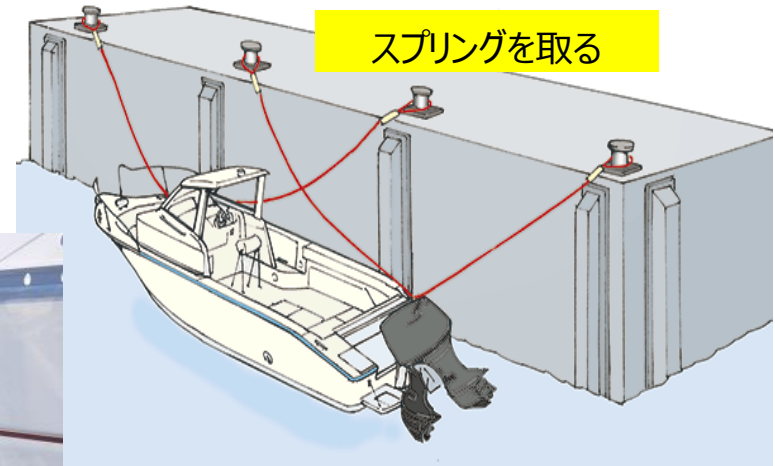
- ヤード内の車の乗り入れ

荷物の積み込み（30分以内）

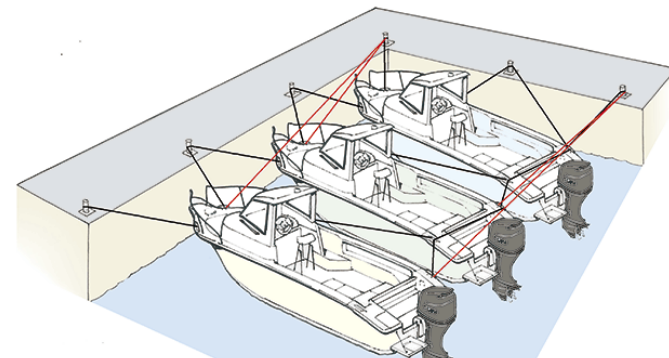
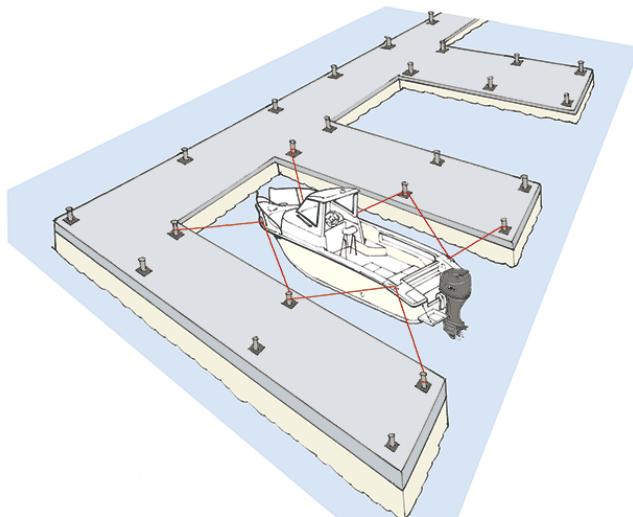
港内は波を立てない



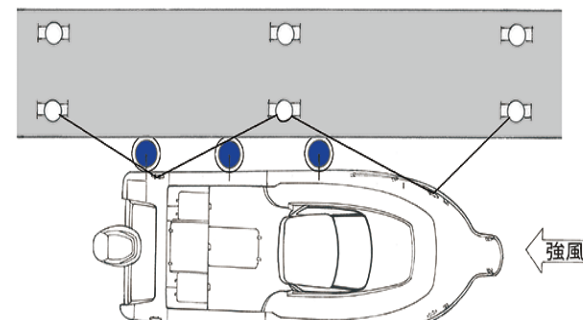
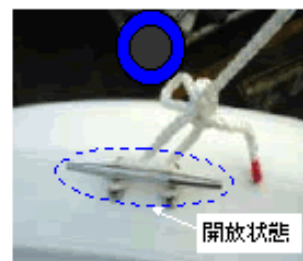
スプリングを取る



台風襲来時の係船

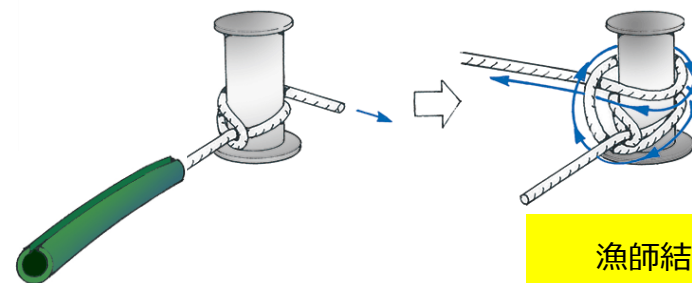


栈橋から直接取る



バウは風上

2重が良い



漁師結び

2023年広島県セーリング連盟 メンバーズミーティング



安全なセーリングを楽しみましょう

2023年4月9日

広島県セーリング連盟
普及育成委員会